

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	個別 演題名・共催社名	オンデマンド 配信
プレナリーセッション 「Let Communities Lead: Understanding community partnership and leadership towards ending HIV」	PS	Nittaya Phanuphak	Let Communities Lead: Understanding community partnership and leadership towards ending HIV	○
会長講演 「エイズ予防とコミュニティエンパワメントの重要性：これまでとこれから」	CH	岩橋 恒太	エイズ予防とコミュニティエンパワメントの重要性：これまでとこれから	○
特別シンポジウム1 「3つの0の達成のために オーストラリアのエイズ予防啓発の現在の活動から、日本のこれからの予防、啓発を考える」	SPSY1-1	荒木 裕人	—	○
	SPSY1-2	青木 大	—	○
	SPSY1-3	町 登志雄	—	○
	SPSY1-4	木南 拓也	—	○
	コメンテーター	船石 翔馬	—	○
	コメンテーター	福正 大輔	—	○
	コメンテーター	宮階 真紀	—	○
	コメンテーター	Li Chunyan	—	○
特別シンポジウム2 「ラバトア：各分野の最新知見」	SPSY2-1	松岡 佐織	—	○
	SPSY2-2	村松 崇	—	○
	SPSY2-3	原田 恵嘉	—	○
	SPSY2-4	金子 典代	—	○
日本性感染症学会と日本エイズ学会の合同シンポジウム 「HIV PrEPとドキシサイクリンPEP」	JS-1	水島 大輔	HIV PrEPのエビデンスとガイドライン	○
	JS-2	谷口 俊文	ドキシサイクリンPEPのエビデンスと適正使用	○
	JS-3	塩尻 大輔	東京でのHIV-PrEP、ドキシサイクリン-PEPの実際	○
	JS-4	石内 崇勝	関西でのHIV-PrEP、ドキシサイクリン-PEPの実際～HIV/STIにおける検査・治療・予防・情報提供の分離解消を目指して～	○
シンポジウム 「治療の手引き」  ※日本エイズ学会認定医・指導医および HIV感染症看護師のみ、オンデマンド配信でも 単位取得は可能	TR1-1	満屋 裕明	はじめに	○
	TR1-2	湯永 博之	What's New?	○
	TR1-3	池袋 真	LGBTQ+における感染症とライフスタイル：健康格差とスティグマの視点から	○
	TR1-4	安藤 尚克	STDへの対応；最近の動き	○
	TR1-5	照屋 勝治	HIV/AIDS診療現場で注意すべき代謝性疾患とその対策	○
	TR1-6	安達 英輔	Long-acting injectable/2剤療法のreal-life データ	○
	TR1-7	白阪 琢磨	ZERO Transmission in Japan by 2030	○
	TR1-8	岡 慎一	終わりに	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	個別 演題名・共催社名	オンデマンド配信
シンポジウム1 「HIVとともに生きる人はどこまで強くならなければならないのか？」	SY1-1	井上 洋士	人はどこまで人を強くしたがるのか - エンパワメント再考 -	○
	SY1-2	大島 岳	傷つきとレジリエンスの生活史／オーラルヒストリー	○
	SY1-3	柿沼 章子	今日まで生きてきた薬害HIV感染被害者 - 強くなるべきは周囲 -	○
	SY1-4	安尾 利彦	心理士として陽性者の「強さ」「弱さ」をどう理解して関わるか	○
	指定発言者	灰 来人	-	○
	指定発言者	加藤 力也	-	○
	指定発言者	喜多見 洋子	-	○
シンポジウム2 「女性のPLHIVの健康を考える」	SY2-1	今橋 真弓	当院における女性PLHIVの現状について	×
	SY2-2	ようこ	F-PLHIVになってからの人生と気持ちの変化	×
	SY2-3	吉野 直人	日本におけるHIV母子感染-過去・現在・未来から女性のPLHIVを考える-	×
	SY2-4	杉浦 敦	近年のHIV感染妊娠に関する問題点	×
	SY2-5	関谷 綾子	Gender differencesからみた代謝疾患などについて	×
シンポジウム3 「“生きていたい”を支える支援と社会を目指して ～HIV陽性者の自殺とメンタルヘルスを考える～」	SY3-1	戸ヶ里 泰典	HIV陽性者における自殺念慮・企図の実態と心理社会的要因— Futures Japan全国調査より	○
	SY3-2	安尾 利彦	医療機関における希死念慮・自殺企図	○
	SY3-3	生島 嗣	地域NGOにおける相談・支援現場で感じる難しさについて	○
	SY3-4	川島 義高	自殺予防の基礎知識	○
シンポジウム4 「患者報告アウトカム(PRO)がもたらす新たな医療と社会」  ※オンデマンド配信での単位取得は不可	SY4-1	川口 崇	本邦における患者報告アウトカム (PRO) の現状と留意点 - PROの 選択・収集・評価	○
	SY4-2	関根 祐介	臨床研究からみえてきたHIV陽性者へのePROの活用	○
	SY4-3	吉野 友祐	HIV陽性者へのePROの臨床応用からみえてきたもの	○
	SY4-4	高久 陽介	患者報告アウトカム(PRO)がもたらす新たな社会のメリットと問題点	○
シンポジウム5 「What's Unknown - 足らざるを知る -」	SY5-1	上野 貴将	基礎研究からのアプローチ ～ Treat all policyの次に向けて	×
	SY5-2	山本 浩之	HIV感染症の生体レベル攻防戦：免疫オーバーキル vs 宿主応答の 連鎖	○
シンポジウム6 「セックスワーカーの多様性と多言語対応を踏まえた予防啓発」	SY6-1	高木 慎介	SWやトランスジェンダーについて学ぶ研修会の企画を通して	○
	SY6-2	青山 薫	外国人セックスワーカーのネットワークを利用した予防啓発の可能性：パ リと東京の事例から	○
	SY6-3	金子 典代	トランスジェンダーとセックスワーク、セクシュアルヘルスに関する調査結果	○
	コメンテーター	貞升 健志	-	○
	コメンテーター	宮階 真紀	-	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	個別 演題名・共催社名	オンデマンド配信
シンポジウム7 「HIV感染血友病患者における併存疾患や合併症の早期発見と 予防的取り組み」	SY7-1	照屋 勝治	HIV感染血友病における慢性疾患の現状と今後の課題	○
	SY7-2	古賀 道子	悪性腫瘍の早期発見に向けて—SVR後の肝臓に要注意	○
	SY7-3	高鍋 雄亮	HIV感染血友病患者における口腔衛生状態や歯科受診、セルフケアの実態と課題	○
	SY7-4	大金 美和	HIV感染血友病患者への情報収集シートの活用による予防的取り組み～患者参加型医療の実践について看護師の活動より～	○
シンポジウム8 「Host response vs pathogen escape -宿主応答 vs 病原体エスケープ-」	SY8-1	有井 潤	ヘルペスウイルスと宿主応答との攻防	×
	SY8-2	阿戸 学	細胞内寄生細菌への宿主免疫応答とその抑制/回避	○
シンポジウム9 「日本におけるPrEPの普及と実装の課題 3分野から」	SY9-1	菊地 正	-	○
	SY9-2	池田 詩子	-	○
	SY9-3	太田 ふとし	-	○
シンポジウム10 「欧州エイズ学会（EACS）との共同企画-EACS LIVE! Interactive case-based discussion-」 <b>※オンデマンド配信での単位取得は不可</b>	パネリスト	Esteban Martinez	-	○
	パネリスト	Annette Haberl	-	○
	SY10-1	吉田 恭子	症例1	○
	SY10-2	池内 和彦	症例2	○
シンポジウム11 「What has been unveiled -描かれた顔-」	SY11-1	塩田 達雄	ウイルスが増えるということ、増えないということ	○
	SY11-2	前田 洋助	コレセプター研究がHIVの基礎研究・臨床にもたらしたもの	○
	SY11-3	村上 努	HIV Env/Gag相互作用、コレセプター阻害剤、ペプチド性阻害剤についてわかったこと	○
	SY11-4	佐藤 裕徳	HIV-1の生存戦略と計算科学	×
シンポジウム12 「時代と共に変化する看護師の役割—普遍的なHIV看護とは—」	SY12-1	谷本 真理子	慢性疾患看護でたいせつにしたい考え方	○
	SY12-2	東 政美	時代の移り変わりからみるHIV看護	○
	SY12-3	稗田 広美	私が考えるHIV看護 —患者との関わりを振り返って見えてきたこと—	○
国際シンポジウム 「Special Symposium on Community-led Monitoring of HIV services」	ISY-1	Polin Ung	-	○
	ISY-2	Vuyiseka Dubula	-	○
	ISY-3	Rena Janamnuaysook	-	○
	ISY-4	Myagmardorj Dorjgotov	-	○
	Moderator	田沼 順子 / Junko Tanuma	-	○
	Discussants	山下 織江 / Oriie Yamashita	-	○
	Discussants	金子 典代 / Noriyo Kaneko	-	○
	Closing remark	岩橋 恒太 / Kota Iwahashi	-	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	個別 演題名・共催社名	オンデマンド配信
ポジティブトークセッション 「POSITIVE TALK 2024」	スピーカー	かみちゃん	-	○
	スピーカー	勝水 健吾	-	○
	スピーカー	shin	-	○
	スピーカー	中野 栄二	-	○
	スピーカー	星 竜也	-	○
日本エイズ学会認定講習会（医師） 「PLWHにおける悪性腫瘍」  ※オンデマンド配信でも単位取得は可能	TR2-1	照屋 勝治	PLWHの悪性腫瘍の現状と問題点	○
	TR2-2	矢嶋 敬史郎	カボジ肉腫およびHHV-8関連疾患の診療マネジメント	○
	TR2-3	北村 浩	PLWHで問題となる悪性腫瘍 3) 肛門癌	○
日本エイズ学会認定講習会（看護師） 「HIV感染症患者のサポート形成支援（人的支援） ～長期療養における他者への病名の打ち明け支援について考える～」  ※オンデマンド配信でも単位取得は可能	TR3-1	向井 三穂子	-	○
	TR3-2	中村 美保	-	○
	TR3-3	前田 サオリ	-	○
	TR3-4	渡部 恵子	-	○
アドバンス研修 「事例で考えるHIV感染者の包括ケア ～HIV陽性者の高齢化に向けた包括的支援の検討～」  ※オンデマンド配信での単位取得は不可	-	徳山 麻里子	-	×
	TR4-1	犬丸 真司	-	×
	TR4-2	羽柴 知恵子	-	×
	TR4-3	関矢 早苗	-	×
	TR4-4	徳山 麻里子	-	×
	TR4-5	大金 美和	-	×
HIV感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会 「PLWHのQOL向上 = HIV専門・認定薬剤師×□ ～□に当てはまる「資格」を答えよ～」  ※オンデマンド配信での単位取得は不可	TR5-1	戸矢崎 信也	□ = 腎臓病療養指導士 ～PLWHの腎臓を守るために～	○
	TR5-2	田橋 美佳	□ = 外来がん治療専門薬剤師（BPACC） ～外来化学療法もサポートします！～	○
	TR5-3	小川 和彦	□ = 在宅緩和ケア対応薬局 ～トータルペインへの支援～	○
	TR5-4	島田 淳史	□ = 精神科薬物療法認定薬剤師（取得予定） メンタルヘルスサポートについて	○
市民公開講座 「エイズ・性教育再考 ～伝えるむずかしさ～」	-	高久 陽介	-	×
	-	清水 美春	-	×
	-	高橋 幸子	-	×

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	個別 演題名・共催社名	オンデマンド 配信
ワークショップ1 「Workshops by new investigators」	WS1-1	Appiah Kubi Joyce	Inhibitory Effect of CCR5 on HIV-1 at the Late Stage of Replication	○
	WS1-2	Sakhor Wajihah	HIV-Tocky system in primary CD4 <sup>+</sup> T cells joined with transcriptomic and epigenomic analysis to discover mechanism involves in the establishment of latency	○
	WS1-3	Amesimeku Wright Ofotsu	Lenacapavir (GS-6207), a novel potent capsid inhibitor, inhibits viral infectivity by changing the morphology of virus-like-particle	○
	WS1-4	Nasser Hesham	Elucidating mechanisms of APOBEC3-mediated HIV-1 restriction in iPS-ML- derived macrophages	○
	WS1-5 (P-B2-7)	Mtali Chatherine Silas	Construction of a novel antigen-expression mouse model for analysis of the HIV reservoir	○
	WS1-6	Ndubi Mark	Characterization of Vaccine-induced SARS-CoV-2-Specific CD4 T Cell Responses in Japanese people with HIV infection	○
ワークショップ2 「次世代研究者によるワークショップ」	WS2-1	松岡 和弘	APOBEC3H二量体のHIV-1 Vif依存的なユビキチン化機構の解明	×
	WS2-2 (P-B2-8)	松田 幸樹	HIV残存ウイルスリザーバーが誘導する慢性炎症が血管障害を誘発する可能性	○
	WS2-3	松村 総次郎	T細胞株におけるEnvタンパク質非依存的HIV-1レトロトランスポゾン機構の解析	○
	WS2-4	久世 望	Nefを介したHLA-B 抗原の発現低下が見られないHIV-1 感染 Fibrocyteに対するHIV-1特異的T細胞の認識	○
	WS2-5	石坂 彩	HIV感染者の消化管における腸内細菌と真菌カンジダの共生関係の理解	○
	WS2-6 (P-B1-3)	奥村 真由	CXCR4多量体形成に関連したHIV-1感染機序の解明	○
	WS2-7	小谷 治	分子動力学計算を用いたHIV-1 ゲノムRNA LTR領域の構造機能予測系の開発	×
	WS2-8	郭 悠	XBB.1.5系統株感染およびXBB.1.5ブースターワクチン誘導抗体の JN.1子孫株 (KP.2株、KP.3株、KP.2.3株、LB.1株) 中和効果	○
開会式	-	-	-	×
閉会式	-	-	-	×
優秀演題賞発表	-	-	-	×
コーラス	-	-	-	×
代議員総会・会員総会・評議員会	-	-	-	×
第21回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演	-	-	-	×
メモリアルサービス 「第14回 世界エイズデー メモリアル サービス～生命をつなぐ～」	-	-	-	×
共催シンポジウム1	-	-	ギリアド・サイエンシズ(株) メディカルアフェアーズ本部	×
共催シンポジウム2	-	-	ヴァーヘルスケア(株) / 塩野義製薬(株)	×
共催シンポジウム3	-	-	MSD(株)	×
共催シンポジウム4	-	-	パートナー 共済	○
共催シンポジウム5	-	-	ヴァーヘルスケア株式会社	×
共催シンポジウム6	-	-	MSD(株)	×

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	個別 演題名・共催社名	オンデマンド 配信
共催シンポジウム7	-	-	デンカ(株)	○
共催シンポジウム8	-	-	ヴァーヘルスケア(株)	×
共催シンポジウム9	-	-	MSD(株)メディカルアフェアーズ	×
共催シンポジウム10	-	-	ギリアド・サイエンシズ(株) メディカルアフェアーズ本部	×
共催シンポジウム11	-	-	ヴァーヘルスケア(株)	×
ランチョンセミナー1	-	-	中外製薬(株)	×
ランチョンセミナー2	-	-	ギリアド・サイエンシズ(株)	×
ランチョンセミナー3	-	-	セコム医療システム(株)	○
ランチョンセミナー4	-	-	ヴァーヘルスケア(株)／塩野義製薬(株)	×
ランチョンセミナー5	-	-	MSD(株)	×
ランチョンセミナー6	-	-	サノフィ(株)	×
ランチョンセミナー7	-	-	ギリアド・サイエンシズ(株)	×
ランチョンセミナー8	-	-	武田薬品工業(株)	×